

陳 情 文 書 表

<p>受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名</p>	<p>陳情第101号 (6.11.11) 公立保育所の充実を求める陳情</p>
<p>陳 情 の 要 旨</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 長年の保育士不足の状態を改善するために正規保育士を大幅に増員すること。 2. 会計年度保育士も含めて保育士の大幅な処遇改善をすること。 3. 1歳児の配置基準改善を国は先延ばしにしたが、既に近隣の芦屋市・西宮市・宝塚市では以前から実現しており、神戸市でも国に先駆けて実現させること。 4. 早朝7時から12時間もの開所時間での保育を、どの時間帯も全て最低基準が守られるように公立保育所でも保育士配置を厳格にすること。 5. 子供たちの命と安全や保護者が安心して働く権利を守る砦であるべき公立保育所の充実のために大幅に予算を増額すること。
<p>陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市中央区 神戸市保育運動連絡会 岡 富美子</p>
<p>送 付 委 員 会</p>	<p>教育こども委員会</p>

神戸市議会議員

様

2024年11月//日

神戸市保育運動連絡会

~~会長 朝倉~~

神戸市中央区

岡 富美子

公立保育所の充実を求める陳情書

日頃より神戸市で育つ子ども達が全て、等しく豊かで手厚い保育を受けるために努力していただきありがとうございます。

国の最低基準が76年ぶりに改善されたことを受け、ほとんどの民間保育園では基準を上回る保育士配置の努力がされています。今年度の予算にも民間保育園の基準改善のための予算が確保されておりす。しかし公立保育所においては、基準改正は全く従来^元のままです。3歳児クラスで最低基準1.5対1を^{下回}っている保育所が22か所、4、5歳児で最低基準2.5対1を^{下回}っている保育所が13か所もあります。その上保育士の欠員問題が長年解消されていません。保育士の^{下回}産休・育休の取得が9月に114人でその代替の任期付保育士は55人しか雇用されておらず、半数以上がパートつなぎの状態です。本来フルタイムで時差勤務をこなし、クラス担任に配属されるべき保育士が欠員になり、午前・午後・週に2から3回などでの短時間会計年度保育士などで補っており、保育所の運営や保護者対応などに支障をきたしています。その短時間勤務保育士の配置すら困難で、欠員になっているポストが5ポストもあることが今年度初めに報告されていますが、夏以降その数は増えています。

2023年度は定年退職者がゼロだったにもかかわらず、42人も正規保育士が退職しました。現場は疲弊しています。新規採用の数はその半数ほどでした。フルタイム会計年度保育士は、処遇が悪い上に正規並みの働き方が求められ、募集しても見つかりません。須磨保育所で2013年に起こった午睡時の死亡事故が二度と起こらないように、保育士配置を手厚くしてください。公立保育所の定員や数を減らすのではなく、年度途中の入所や兄弟一緒の施設への入所など、住民の保育要求に応えられる公立保育所を充実させてください。

陳情項目

- 1、長年の保育士不足の状態を改善するために正規保育士の大幅増員をお願いします。
- 2、会計年度保育士も含めて保育士の大幅な処遇改善をしてください。
- 3、1歳児の配置基準改善を国は先延ばしにしましたが、すでに近隣の芦屋市・西宮市・宝塚市では以前から実現しています。ぜひ神戸市でも国に先駆けて実現させてください。
- 4、早朝7時から12時間もの開所時間での保育を、どの時間帯もすべて最低基準が守られるように公立保育所でも保育士配置を厳格にしてください。
- 5、子どもたちの命と安全・保護者の安心して働く権利を守る砦であるべき公立保育所の充実のために大幅な予算増額をお願いします。